



2022年5月13日

各 位

会 社 名 横浜ゴム株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 山石 昌孝  
コード番号 5101 東証プライム  
問 合 せ 先 経 理 部 長 村田 健一  
(TEL. 03 - 5400 - 4520)

### (訂正) 「2022年12月期 第1四半期決算説明会資料」の一部訂正について

2022年5月13日に公表いたしました、「2022年12月期 第1四半期決算説明会資料」の記載内容の一部に訂正すべき事項がありましたので、お詫びを申し上げますとともに、下記のとおり訂正いたします。なお、訂正箇所につきましては枠で表示しております。

記

#### 【訂正の内容】

「2022年12月期 第1四半期決算説明会資料」4ページ

内容につきましては次項に記載しておりますので、ご参照ください。

【訂正前】

# YX2023進捗：タイヤ生産財

市場変化への取り組み  
DX  
DX  
DX



## Trelleborg Wheel Systems事業／買収合意

Trelleborg ABと株式売買契約締結

企業価値：2,040百万ユーロ

EBIT倍率：約9倍

※2022年横浜ゴム推定 230百万ユーロ  
業績連動型のアーンアウト調整後

買収完了時期：2022年下期（予定）※各国の競争法に基づく承認次第

## 新商品ラインアップ



BluEarth 711L

505C



## DX／センサータイヤ開発

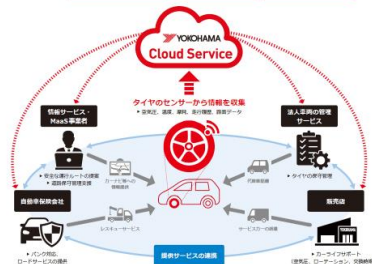
センシング波形から摩耗状態を推定する技術を開発



タイヤ内面貼り付け型センサーのイメージ

タイヤセンサーによるセンシングイメージ

主な効果：都市部の交通渋滞解消 交通の安全性の向上 移動の利便性の向上



Sensor Tire Technologyが実現するサービス像

Copyright(C) THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD.

【訂正後】

# YX2023進捗：タイヤ生産財

市場変化への取り組み  
DX  
DX  
DX



## Trelleborg Wheel Systems事業／買収合意

Trelleborg ABと株式売買契約締結

企業価値：2,040百万ユーロ

EBITDA倍率：約9倍

※2022年横浜ゴム推定 230百万ユーロ  
業績連動型のアーンアウト調整後

買収完了時期：2022年下期（予定）※各国の競争法に基づく承認次第

## 新商品ラインアップ



BluEarth 711L

505C



## DX／センサータイヤ開発

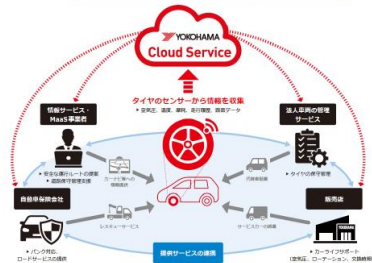
センシング波形から摩耗状態を推定する技術を開発



タイヤ内面貼り付け型センサーのイメージ

タイヤセンサーによるセンシングイメージ

主な効果：都市部の交通渋滞解消 交通の安全性の向上 移動の利便性の向上



Sensor Tire Technologyが実現するサービス像

Copyright(C) THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD.